

とがみ

「やさしく かしこく たくましく」

山形市立滝山小学校

第3号
令和5年6月30日

発行：校長 大城勝利
山形市小立4-13-86

夏至を過ぎ、いよいよ明日から7月です。沖縄地方では梅雨明けしたとのニュースも聞こえてきました。前回のおたよりから1か月、滝山小学校の子どもたちの様子を、今年度の滝山小のキーワード、「みんなが笑顔」、「つくる」、「考える」に関連付けてお伝えします。

「つくる」：運動会の姿から ～5/27 団体種目の部～

本校では、知識・技能を身に付けるのはもちろんですが、問題発見・課題設定、解決といった探究型の学びを進め、学校生活を自分たちで「つくる」経験を大切にしたいと考えています。

＜実行委員長のあいさつ＞ 6年 S・S

みなさん今日は運動会本番です。今年のスローガンは「一致団結・声出せ・汗出せ・力出せ」です。今年度は3年ぶりに声を出して応援合戦ができるようになりました。また、1年生から6年生が一緒に行う全校種目もできるようになりました。今年度は学年ごとの種目だけでなく、全学年で1つの種目を行うことができます。

全学年が協力し合い、全力を出せる運動会をつくるためにはどうしたらいいか考えてきました。実行委員会でも考えたスローガンを結団式で発表したり、総練習で運動会本番の流れをみんなで確認したりしながら運動会に向けた気持ちを高めてきました。ここまで実行委員会だけではなく応援団や全校種目係など各係ごとに全学年が応援歌を覚えたり全校種目の大玉送りを練習したりして一人一人ががんばってきたと思います。

今日はいよいよ運動会本番です。勝っても負けても今年の運動会はきょう1日しかありません。一人一人が一致団結の気持ちを持ち、両組たくさん声を出し、汗を出し、今まで練習してきた力を全力で出し切りましょう。そして両組くいのない運動会にしましょう。

久しぶりに全員が声を出し、天気のように“熱く”燃えた運動会でした。スローガンや全校種目等全体に関わる部分を実行委員のみなさんがまず提案してくれました。「全学年が協力し合い、全力を出せる運動会をつくるにはどうすればいいか。」という意識が、実行委員、そして全校で共有されていきました。



全校種目係の試行錯誤



総練習の様子



そして本番

本校の2大行事の1つである運動会を滝山小全員で「つくろう」と、取り組みをスタートさせました。特に全校種目は久しぶりの実施なので、担当の子どもたちは、頭を悩ませ、様々考えながら取り組んでいました。

総練習では全体の整列に時間がかかってしまいましたが、その後、係で反省し、本番へ向けて動きの工夫をしました。600人を超える人数に指示を出し、決まった練習回数で本番を迎え、成功させるのは大変だったことでしょう。話し合いながら進め、見事本番の全校種目を成功させることができました。

問題を見つけ、あきらめずに考え、仲間と対応策を話し合い、実行する。今回のような経験を様々な場面で積み重ねていきたいと思っています。

<閉会の言葉> 6年 H・S

私は、自分で運動会をつくりたい、と思い実行委員になりました。

スローガン決めて入れたい言葉を考える時は、自分から意見が出せませんでした。スローガン決めが終わった後、私は、6年生が下の学年のお手本にならないと下の学年もがんばれないと思い、常に自分から考えを発表することを心がけようと思いました。すると次の係会で結団式の役割を決めたときに、自分から進んでその役割につくことができました。私はその時に、初めて自分から運動会を作ろうとする気持ちを行動に表すことができたと思いうれしくなりました。

みなさんも今日の運動会を迎えるまでにいろいろな努力や挑戦をしてきたと思います。例えば係活動がない学年も徒競走や応援など1位をめざしたり、声を大きく出したりして自分の組が勝てるようにがんばってきました。

わたしは今日の運動会を終えて、…(中略)

運動会は終わりましたが、自分の組が勝てるようにがんばったことや自分の力を精一杯出したことを忘れずにこれからもそれぞれの目標に向かってがんばっていきましょう。これで令和5年度大運動会を終わります。

「気持ちを行動に表す」…思ってもそれを行動に移すことは難しいことがあります。でも今回は、少しだけ勇気を出して挑戦してみたら、自分自身を前向きに変えることができたようですね。



頼もしいリーダーシップ



白熱したリレー



3人で力を合わせて

あきらめない姿

「負けたかもしれない…」そんな沈んだ雰囲気の中、閉会式で整列しようとしていた組全体に、「まだ負けてないよ。しっかり並ぼう。」と6年生の応援団が声をかけていました。

あきらめず最後まで全力を尽くそうとする姿、これも本校でめざす子どもの姿そのものでした。

「考える」：～自主性と主体性～

自主性(的)と主体性(的)。よく耳にする言葉ですが若干意味が違います。端的に言うと、すべきことを決めたのは自分なのか、それとも自分以外の人か、の違いです。

さて、運動会徒競走の部で次のような場面を見かけました。

6年生の徒競走。見学していたA君は、最初、友達がゴールした後、声をかけ整列場所へ誘導する役割がありました。担任の先生から言われたことに一生懸命取り組む姿がありました。

しかし、そこは6年生です。整列場所をちゃんと分かっていて、ゴールした人たちは指示がなくても待機場所にすぐ行くことができました。

するとA君は私たちのところへ来て「ぼくの仕事は必要なくなったので、水分補給の声掛けをしたいと思います。」と言いました。待機場所とは反対側にある桜の木の下に置いてあった水筒を指さし、ゴールした友達に水分補給を呼びかけたのです。自主性から主体性へ切り替わった瞬間でした。A君は自分で考えた活動に一生懸命取り組んでいました。

言われたことを進んでやることも大切です。更に一步進んで、自分でやることを考え、取り組む姿を見つけ、とてもうれしくなりました。

活躍の足跡...山形市陸上運動記録会

6/6(火) ネットズエがおフィールドで、市内37校の代表選手が出演しての市陸上運動記録会が行われ、他校の6年生と競いながら自己ベストをめざしました。本校からは17名が出演し、ほとんどの子が自己ベストを更新する大活躍でした。選手の皆さんに大きな拍手を送りたいと思います。主な結果は次のとおりです。

☆男子4×100mリレー	第2位	K・H、K・A、I・H、K・H	56秒04
☆女子4×100mリレー	第9位	S・H、M・N、I・R、K・M	59秒78
☆男子100m走	第5位	K・A	14秒07
☆女子100m走	第2位	M・N	14秒83
☆男子1000m走	第1位	K・H	3分16秒07
☆男子走幅跳	第8位	I・H	3m93
☆女子走高跳	第6位	A・S	1m15

上記のうち、男子リレーは7/15(土)の県小学生招待リレー記録会へ、男子1000m走と女子100m走は、7/17(月)の県小学生陸上記録会へ、山形市の代表として出場することになりました。



先頭をひた走る



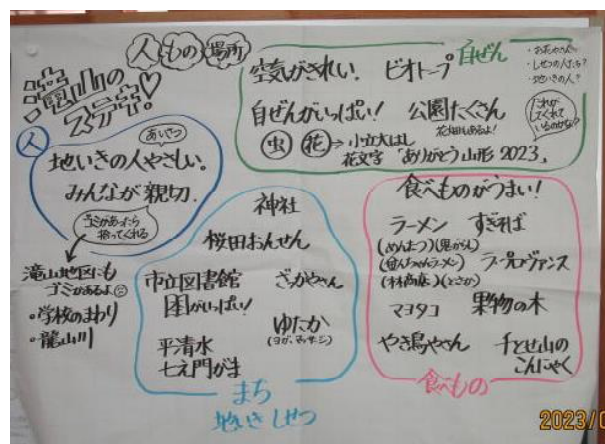
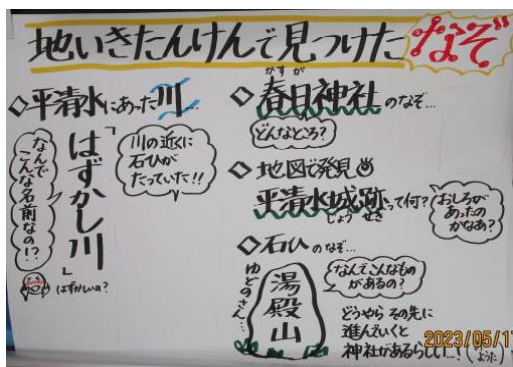
さあ、バトンパス!

学びを「つくる」：「たきやま×きずなプロジェクト～竜山川土手アートを盛り上げよう～」

3年総合的な学習より

地域理解と郷土愛育成をめざし、生活科や総合的な学習等での学びを進めています。今回は3年2組の実践を紹介します。

3年2組は、まず地域探検を実施し、そこから下の写真にもあるように、子どもたちが、滝山地区の「なぞ」について話し合いました。次に、「人、もの、場所」について、滝山地区の良さをまとめてみました。



自分たちの身近な場所であるにも関わらず、知らないことがたくさんあることに気づき、そして、目をつけたのが「竜山川の土手アート(花文字)」でした。土手アートについての「ふしぎ」や「ぎもん」を出し合い、更に調べたい内容や調べる方法を話し合いながら学習を進めています。

今後、地区の中でのフィールドワークを取り入れ、場合によっては関係する地域の皆様にもお手伝いいただくことになるかもしれません。その時は、ぜひご協力いただければと思います。

その他の学年・学級も、地域での学習に取り組みますのでご承知おきください。

「みんなが笑顔」になるために

日頃より、保護者・地域の皆様には、子どもたちや学校に関する様々な情報をお寄せいただき、誠にありがとうございます。今月は、いじめアンケートや子どもたち・保護者の皆様との面談を実施し、情報の精度を高め、必要に応じて対応してきました。

児童理解を深めるため職員間で日常的に様々話をしていますが、やはり校内だけでは不十分なことがあります。「みんなが笑顔」になるため、各種情報を共有し、学校でできることとご家庭と協力しながら取り組むことを丁寧に進めていきたいと考えています。

お気付きの点がございましたら、いつでも各担任又は教頭までお知らせください。今後も、子どもたちのよりよい育ちのためご協力をお願いいたします。



ようこそ校長室へ!



いいねえ、おんぶしてもらって



5年生、プール清掃ありがとう!

<交通指導員さん紹介>

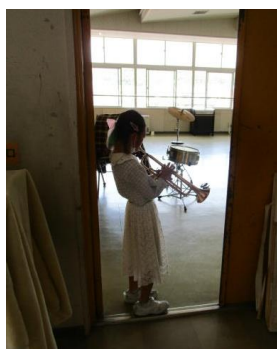
6/19より、浅野商店様前横断歩道で、上桜田の**高橋昭弘**様が交通指導員として子どもたちの安全を見守ってくださっています。お引き受けくださり、本当にありがとうございました。なお、丹羽鉄工所様前は、これまでどおり**林 純一**様が立ってくださいます。

交通指導員の皆様には、本校で実施する交通教室等でもお世話になります。

先日交通教室でお越しいただいた**林**様に、子どもたちへのアドバイスをお聞きしたところ、横断歩道ではしっかり自分の目でも確かめること、そして、止まってくれた車の運転手さんに、感謝の気持ちこめて会釈をしてほしいとのことでした。安全第一ですが、もし可能な場合は、取り組んでみるといいかもしれませんね。



野菜を育てよう



自主練がんばれ!



かっこよすぎ



おはなしの会スタート。楽しみですね。



グループで話し合いながらの学習



反復横跳びを教えてもらっています。